



JASAグローバルフォーラム 2023開催報告



EdgeTech+2023のセミナーとして開催されたJASAグローバルフォーラムの報告です。
今回は「海外人材の教育研修から、本格的な採用にむけて」をメインテーマにしました。
冒頭、このフォーラムを企画・実施したJASA国際交流委員会岩永智之委員長から、ご挨拶の後、
海外人材採用支援活動に日頃ご尽力されておられる方々に、ご講演をいただきました。

JASA国際交流委員会委員 /
一般社団法人 J-TEA専務理事
大津 健二



●基調講演

外国人材採用の現状及び支援策について

一般財団法人 海外産業人材育成協会 (AOTS)

専務理事 立石 譲二 氏

日本では、人口減少に伴う労働人口の大幅な減少、更には技術革新や産業構造変化の中で、外国人の採用も年々増加はしていますが、まだまだ十分ではありません。

外国の優秀なエンジニア獲得を目指したい企業は多いですが、近年の円安に伴う母国から見た賃金の低下、職場での日本語コミュニケーション、その他課題が多々あります。このような状況を踏まえ、経産省など政府や関係機関は、高度人材受入れについて、様々な支援事業を推進しています。

JETROの伴走型支援活動、経産省の国際化促進インターンシップや、海外ジョブフェア事業、JICAの中小企業SDGsビジネス支援事業、AOTSの寄付講座開設事業などです。

●招待講演

選ばれる日本になるために

立命館アジア太平洋大学 (APU)

キャリア・オフィス課長 篠崎 裕二 氏

別府を所在地とするAPUは、在籍者約6000人の内半数は世界からやって来た留学生です。

日英2言語環境で暮らし学習する中で、日本の学生は、自ずと英語力と積極性、多文化理解力を身につけ、一方外国学生は、日本語と日本文化を身に付けますが、必ずしも日本の会社に就職するわけではありません。

これは留学生側から見ると、円安による賃金の影響ありますが、それよりも、採用側の意識、特に日本語レベルを重視し過ぎる事に、課題があるように思います。



立石 譲二 氏



篠崎 裕二 氏



杉本 浩 本部長



杉本 祥一 氏



山川 隆一 氏

企業側は、異文化異言語の外国人だから不安という意識をなくし、「ワールドカップには世界の人材で臨みましょう」という考えで、能力中心で採用するようにして行く事が重要です。

●スリランカ組込みエンジニア育成教育

JASAが取り組む、海外人材育成事業と今後の本格的な採用に向けて

一般社団法人組込みシステム技術協会

人材育成事業本部長 杉本 浩 氏

JASAでは海外人材育成活動として、経産省の補助事業である、スリランカにおける組込みエンジニアの教育育成を、3年間(令和3年から5年度)実施しました。

その中のWebによる遠隔研修は好評で、外国人の教育のノウハウを集積できました。今後はこの活動を他国にも拡大すると共に、AOTSの寄付講座として、日本の品質管理についてのインターンシップを支援する活動も行う予定です。

受入れ事例:初めての外国人エンジニア採用への取り組み

(株)ハイスポット 代表取締役社長

杉本 祥一 氏

初めて外国人(スリランカ)の大学生をインターンシップとして受け入れました。彼らのホストファミリーになったつもりで受け入れようと、仕事以外にも週末には観光や買物な

ども企画し、良好な人間関係を築け、また社員にとっても刺激となり、良い効果があったと思います。

今後も連絡を取り合い、大学卒業後は採用に繋がりたいと思います。

受入れ事例:人材のボーダレス化と採用強化への取り組み

(株)プライセン DX・xTECHソリューション

事業本部長 山川 隆一 氏

ベトナムからインターンシップとして、毎年10名くらい受け入れていますが、今年はスリランカから4名受け入れました。

インターンの留学生を中心としたプロジェクトチームを組んで、仕事を体験してもらいましたが、リーダーはスリランカ人、サブリーダーとして1人だけ日本人を挟んだ構成で、全て英語で実施しました。実際の仕事に近いやり方で、効果があったと思います。

コロナ禍を脱して、EdgeTech+2023は従来の活況を取り戻し、毎年実施しているグローバルフォーラムにも、多くの方が参加しました。講演者の方々、そしてご協力いただいた方々に感謝いたします。

JASA国際委員会では、今後も海外ビジネスや人材活用について、皆様方に役立つ情報を発信して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。